

今、世界中が北欧デザインに注目する理由。

- 001 >> サローネで話題沸騰のデザイン集団はフィンランドから来ました。
- 002 >> 来日経験ゼロなのにグンログソン夫妻のモダン住宅は、なぜか日本風です。
- 003 >> 全世界で600万脚も売れているデザインチェアはデンマーク生まれです。
- 004 >> 巨匠ヤコブセンは、一大リゾート住宅をデザインしていました。
- 005 >> 50年代にヤコブセン、90年代に『ウォールペーパー』誌が夢見た家。
- 006 >> 世界のデザイン関係者が注目している、北欧デザインの21世紀。
- 007 >> 自然を上手に採り入れている北欧の家には、私たちの住まいのヒントがあります。
- 008 >> アアルト、ウェグナー、ヘニングセン。北欧の巨匠はこの人、この家具です。
- 009 >> UFO住宅から宇宙人チェアまで。北欧は近未来デザインの宝庫です。
- 010 >> 名前を覚えておきたい北欧新進デザイナー3組。
- 011 >> スプーンから水栓まで、ヤコブセンはブーム到来の予感。
- 012 >> アメリカの家庭では〈イケア〉のカタログが必需品です。
- 013 >> 〈イルムス〉がついに日本上陸。北欧家具のショップもブーム。



北欧の最大の輸出品はデザインです。



futuro

1968年、フィンランドの建築家マティ・スーロネンによってデザインされた「フュチュロ・ハウス」。本来、CFハウスというレジャーハウスのシリーズのひとつとして設計、製造されたが、フィンランド国内では当時、道路脇のカフェや見本市の出展物として利用された。建材にプラスチック（強化グラスファイバー）を使用したことでエコに敏感なフィンランドでは強い反発を受けたが、海外での反応は好意的で、製造された円盤住宅の半数以上は輸出された。



円谷プロも真っ青、のX星人の前線基地（嘘）。未確認情報だが、ミカ・タニラという映画監督が撮った、この建築物に関するドキュメンタリーフィルムが存在するとか…。



左/林の中にたたずむ円盤住宅。写っている草木と比べると実際の大きさが強い印象。中/集合写真のカラー（純天然色）版を発見。右/貴重な設計図も入手。



ポール・ヘニングセンの永遠の光作照明 (PH5ブラケット) 39,800円 (リースポールセン ジャパン ☎03・3566・5341)

SAさん 確かに、木の自然なライオンを生かすウエグナーらしくない。CAさん 彼も宇宙人に会ってるね、50年の暮れあたりに。SAさん 決めるな。CAさん 「ウルトラQ」でお馴染みのナメゴン、あるいは「セブン」に出てきたゴドラ星人あたりだろう。SAさん めちゃくちゃだ。デザイナーの話に戻そうよ。

SAさん 確かに、木の自然なライオンを生かすウエグナーらしくない。SAさん なるほど。広大なアメリカでは移動の手段である車が、テクノロジーでもデザインでも未来の象徴になりえた。ところが北欧は当時からエコロジーを重視していたよね。CAさん エコ鼻質な国。ガソリンには今でも重税がかかっている。SAさん だから、家が未来のデザインになったんだよ。厳しい気候と

技術そのものが輝いていた時代がいまだ残っている北欧。素敵だね。CAさん 円盤住宅を見た瞬間、僕もまばゆい光に全身を包まれたような気がしたよ。SAさん とっても感動的だね。CAさん それから5年間の記憶がすっぱり抜けているんです。SAさん 矢追さんはもういいの！ 期間の出張だろうに。



50年代の照明器具のポスター。(提供/リースポールセン ジャパン)